令和4年度 能美中学校区 「生活科・総合的な学習の時間」年間計画

	744年及 能夫生	, , , <u> </u>	- 沿件・総合的な子首の時间」年间計画		
	地域から学ぶ		生き方学習	里海教育との関連	表現方法
小1	がっこう だいすき なつが やって きた たのしい あき いっぱい ふゆを たのしもう	どきどき わくわく 1 ねんせい 年間を通して、友達や学校生活を支える人と関わる活動を設定し、自己や他者のよさに気付いたり、自己の成長を実感したりする体験をさせる。		・地域の海, 山, 川などの 探検 ・地域人材とのかかわり	・絵日記 ・絵地図 ・手紙
小2	春だ 今日から 2年生 どきどき わくわく まちたんけん みんなで つかう まちのしせつ もっと なかよし まちたんけん する体験活動を適宜設定する。	つながる 広がる あしたへ ジャン	5 わたしの 生活 年間を通して,友達や学校生活を支える人と関わる活動を設定し,自己や他者のよさに気付いたり,自己の成長を実感したりする体験をさせる。		発信方法 ・スピーチ ・パフォーマンス
小3 地域の魅力発見	わくわく地域発見 ・生活科での探究を思い出す ・校区内でさらに探検したい場所をみつける ・地域を探検し、わくわくするひと・こと・ものをみつける えたじまんさぐり隊 ・前期の学習を江田島市内に広げ、江田島の良さをみつける ・地域振興課の方と江田島巡りをする ・江田島の良さを広めるためにどんな方法があるか工夫する(マップ・新聞・パンフレットな		自分タイム ・自分で課題を設定し、探究的な学習を行う ・探究的な学習を通して学んだことを、他者に表現する	・地域の海,山,川などの探検・地域振興課で働く人の思い・水産資源の理解	マップ (グループ作成)壁新聞 (グループ作成)
小4 地域の福祉	人にやさしいまち江田島 ・暮らしを支える行政,福祉に関心をもち,どんな人たちがどんな仕事をしている。	いるのか調べる	自分タイム		発信方法 ・プレゼンテーション ・スピーチ ・パフォーマンス
小 地域の環境 ※選択	※江田島の食を見つめて ・江田島の特産物、食文化に興味を持ち、そのよさや課題について調べる ・共同調理場を見学し、働く人々の思いにふれる ・学んだことをもとに、地産地消を考えた給食メニューを提案する ※江田島の海を見つめて ・江田島を囲む海に興味をもち、課題をみつけて実態を調べる ・マリンアドベンチャーに参加し、江田島の自然の海の豊かさに気付く ・学んだことを広く発信する方法を工夫する ・江田島に住む立場として、どのようなことに気を付けるかを考える		自分タイム ・自分で課題を設定し、探究的な学習を行う ・探究的な学習を通して学んだことを、他者に表現する	・水産業, 農業の見学 ・江田島の自然環境を 守る仕事 ・地域の環境問題 ・清掃ボランティア ・さとうみ科学館(マリ ンアドベンチャー)	成果物 ・個人新聞 ・レポート ・壁新聞 ・パンフレット ・パワーポイント 発信方法 ・プレゼンテーション ・スピーチ ・インタビュー
小 地域での役割	Catch Your Dream!② ・地域で働く人にインタビューし、職業観を見つめなおす ・自分が思い描く未来に近づくために、何ができるかを考えたり、これまでの感	・興味ある職業に	題を見つめなおし,将来を思いえがく ついて調べ,まとめる(新聞・パンフレット)	り ・水産業, 農業従事者へ のインタビュー	※児童が必要に応じて適切な表現方法を主体的に選択できるようにする。 ※4年間で全ての表現方法が学習できるようにする。 ※個人とグループによる表現をバランスよく計画する。

中 地域を語る	 江田島の現状と課題 ・小学校での学びを振り返り、江田島について知っていることや疑問点を整理する ・地域を見つめ直し、地域の魅力や自分と深く関わる具体性のある課題を設定し、 ・発信活動に向け、主体的・協働的に取り組む活動を通して、地域と自分の生き方・江田島の自然(さとうみ科学館)、環境、文化(さつき太鼓)、産業、歴史(教育町歴史資料館)等の分野に分かれ、課題をみつけて調べ学習を行う 江田島の新たな発見① ・他地域から江田島を考える探究的な修学旅行をプランニングする ・魅力的なプランをプレゼンテーションする 	発信したいことを考え の関りについて考える		・自然体験活動 ・さとうみ科学館 (海辺の観察) ・江田島市の自然環境 ・観光資源 ・地域人材とのかかわり	成果物 ・新聞 (個・グループ) ・パワーポイント (個・グループ) ・レポート ・レポート ・パンフレット ・マップ ・自己表現カード		
中 地域を再発見 コ 地域に貢献	 ワーキング in 江田島 ・小学校での学びを振り返り、自分の夢を見つめなおす ・働くことの意義や心構えについて学ぶ ・マナー講座を通して、TPOに応じた立ち居振る舞いを身に付ける ・地域で働く人たちの姿勢や思いから地域で生きていくことの意味を考える ・キャリア・スタート・ウィーク等をふまえ、地域の特徴や町づくりに携わる人々のを活かす生き方について見通しをもつ 江田島の新たな発見② ・訪問先を江田島との比較しながら調べる 	の思いを捉え,自分	自分タイム	・農業,水産業,観光業との関連・地域人材とのかかわり・自然体験活動	・スピーチ ・インタビュー ・ポスターセッション ・プレゼンテーション ・パンフレット配布 ・実演		
	・訪問先で発信したいことをまとめ、表現方法を工夫する ・訪問先で学んだことと江田島を比較して、発信したいことを考える ・修学旅行を通して学んだことをまとめる 江田島の発展を目指して ・豪雨災害に学び、中学生としてなにができるかを考える。・安全マップ、ハザードマップなど、防災、防犯対策に役立つものを作成する (江田島市に住む外国人と交流し、異国の文化を知るとともに、江田島市での暮らしをサポートする) ・これまでの取組を踏まえて、SDGs の観点から、地域の人たちの願いを捉え、地域の活性化につながる企画を発信する ・地域のまちづくりに係る取組や人々の思いを多面的に捉え、地域に自分がどのように関わっていくのか、自己の取組や生き方について考える				・ヤングスポット※生徒が必要に応じて適切な表現方法を主体的に選択できるようにする。※毎年必ずパワーポイント作成1本,個人新聞かパンフレットにまとめる		
真献する		もの,ことを考える ・先人(憬れの人)の 分自身と比較し,自 ・自分が他者に対して れる表現方法を考え	方につながる社会体験学習を振り返り、影響を受けた人、 ことで、将来の自分の在り方について考える 今までの生き方について話を聞いたり調べたりして今の自 分が大切にしている価値(価値観)は何かを考える 一番伝えたい思いは何かを整理し、それを効果的に伝えら		表現方法1本を学習できるようにする。 ※個人とグループによる表現をバランスよく計画する。		